

令和元年度の決算を審査

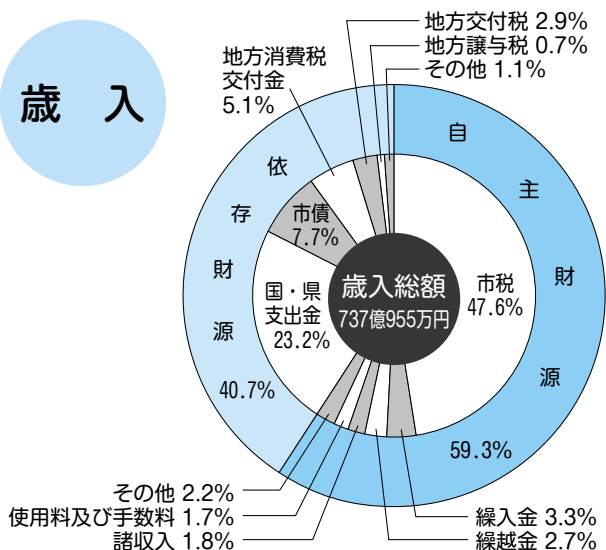
一般会計・特別会計・企業会計の

◆2～3ページの表は、1万円未満を四捨五入してあるため、差引額及び比較増減額が一致しない場合があります。

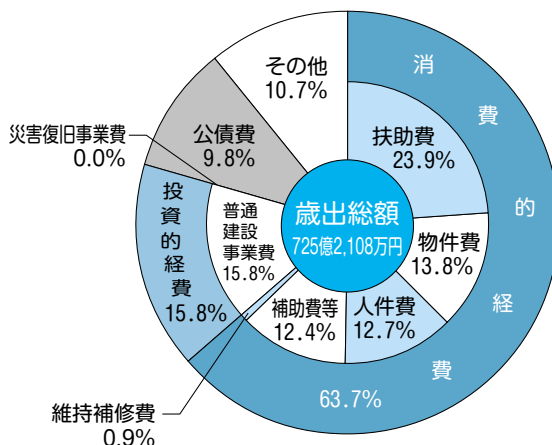
	歳入	歳出	差引額
令和元年度決算額	737億955万円	725億2,108万円	11億8,846万円
平成30年度決算額	731億346万円	711億4,416万円	19億5,929万円
比較増減額	6億609万円	13億7,692万円	
増減率	0.8%	1.9%	

一般会計決算

歳入



歳出



一般会計予算決算委員会での主な質疑

問 個人市民税における納税義務者の状況は。

答 平成30年度に比べ、納税義務者数は347人増の10万3,643人、総所得金額は38億4,744万3,000円増の3,030億8,519万円であった。

問 津波対策事業の主な取組内容は。

答 第二地区、第三地区及び戸田地区において、津波避難ビルを新たに29棟指定したことにより、第二地区、第三地区における津波避難困難地区は、ほぼ解消できた。また、新たな津波避難路7路線の指定、既存避難路13路線の整備を行ったほか、津波からの避難方向などを推奨する「逃げ地図」を津波対策計画

の対象自治会へ配布した。

問 フェンシングのまちづくりの取組と成果は。

答 女子フルーレ4か国合同合宿等の受入れにより、沼津の練習会場やスタッフの対応等を直に知ってもらった結果、カナダ代表チーム及び日本代表フルーレチームとの東京2020大会事前合宿に係る覚書締結につながった。また、民間事業者やメディアを招いて、スマートフェンシング体験会や日本フェンシング協会の太田雄貴会長によるトークショーを開催することで、参加者からフェンシングへの理解と市の取組への協力を取り付けることができたことは、次年度に向けての大きな成果であったと考えている。

問 小中学校におけるエアコンの整備状況は。

答 令和元年度は、市内公立小学校24校と中学校2校の普通教室334室に359台のエアコンを整備したほか、特別教室についても、小学校24室と中学校1室に48台のエアコンを整備した。

問 沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく定住人口確保のための主な取組は。

答 本戦略に掲げる4つの基本目標のうち、基本目標1「沼津における安定した雇用を創出する」に対しては、UIJターンによる就職者を増加させるための取組として奨学金返還支援制度や企業誘致活動などを実施した。基本目標2「沼津への新しいひとの流れをつ

く」に対しては、首都圏からの移住を促進するため、移住相談会や移住体験ツアーなどを開催した。基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える」に対しては、婚活イベントの開催や母子保健コーディネーターの配置など相談・支援体制の強化を図り、結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援を行った。基本目標4「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」に対しては、津波避難路の整備や総合的治水対策を進めるなど、災害に強く、人々が安全・安心を実感できるまちづくりに取り組んだ。この取組の結果、令和元年度は、49年振りに転入超過を達成した。